



2011 年 9 月 7 日

各 位

会 社 名 株式会社 東芝
東京都港区芝浦 1-1-1
代表名 代表執行役社長 佐々木 則夫
(コード番号: 6502 東、大、名)
問合せ先 広報室長 長谷川 直人
Tel 03-3457-2100

ウェスチングハウス社への出資比率引き上げについて

当社は、ウェスチングハウス社への出資比率引き上げについて添付のとおり発表しましたのでお知らせいたします。

以 上

ウェスチングハウス社への出資比率引き上げについて
－ 米国ショー・グループから出資持分を取得 －

当社は、米国大手エンジニアリング会社ショー・グループ（The Shaw Group Inc.：以下ショー）の100%子会社であるニュークリア・エナジー・ホールディングス（Nuclear Energy Holdings）が保有するウェスチングハウス社の全持分（同社持株会社株式の20%）を取得します。これにより当社は、ウェスチングハウス社の持分を87%保有することになります。

なお、株式取得時期については、ニュークリア・エナジー・ホールディングスによる所定の手続きを経て確定するため、現時点では未定です。

ウェスチングハウス社は、2006年10月の当社による買収後、米国および中国で次世代型加圧水型原子炉「AP1000」の建設を10基受注するなど順調に事業を拡大しています。ウェスチングハウス社の事業は日本以外が中心で、米国・中国・英国・インド・ブラジル・東欧諸国等では、エネルギー安全保障、気候変動抑制のための手段として、東日本大震災後も引き続き原子力発電所建設を推進する姿勢が示されるなど、今後も、世界におけるAP1000建設受注の機会は増えることが期待されます。

ショーはこれまで、東芝およびウェスチングハウス社のパートナーとして、米国および中国のプロジェクトにおいて、AP1000の建設エンジニアリングを担当してきました。今後もショーとは引き続き協力関係を継続し、既に受注している米国および中国の案件については予定通り工事完成に向けて注力していくことを両社間で合意しています。今後のプロジェクトの建設エンジニアリングについても、ショーとの協業を検討していく意向ですが、プットオプションが行使された後は、案件毎に新しいパートナーの選任も勘案する可能性があります。特に、今後、事業機会の拡大が期待される欧州・南米・インド等の地域においては、現地企業等の参画が求められる場合もあり得、案件に応じて参画企業を検討していきます。

今回のウェスチングハウス社の持分取得により、同社に対する当社の保有基盤がより強固なものになりますが、既にウェスチングハウス社への出資について、関心を寄せていただいている企業もあり、ビジョンや長期的な事業戦略を共有できる場合には、新たな出資パートナーを迎え入れる可能性があります。

なお、ショーは当社へのウェスチングハウス社持分売却にあたり、ニュークリア・エナジー・ホールディングスと当社との契約に基づく権利（プットオプション）の行使を決定したことを公表しています。ニュークリア・エナジー・ホールディングスは、ウェスチングハウス持株会社株式購入時に、円建て債券を発行しています。今回のショーのプットオプション行使の決定は、昨今の急激な円高により同社の為替差損が増大したことなどによるものと、当社は認識しています。

以 上

本資料についてのお問い合わせ先：

広報室 広報担当 勝俣

TEL 03（3457）2100